

ortofon
accuracy in sound

ortofon
cables



www.ortofon.jp

オルトフォンジャパン株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷2-6-7 TEL:03-3818-5243 FAX:03-3818-5899

写真や図版の色彩は印刷の関係で実際とは若干異なる場合がございます。
また、規格・デザイン・価格の一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
本カタログに記載する著作は、すべてオルトフォンジャパン株式会社に帰属します。
本カタログは2022年10月のものです。Ver.4



Hi-Fiサウンドを忠実に再現し、 音のエネルギーをありのままに伝える。

高純度銅線を用いたケーブル開発においてその礎を築いたオルトフォンは、導体の素材、構造、構成にまで独自技術を駆使して革新的なケーブルを生み出してきました。

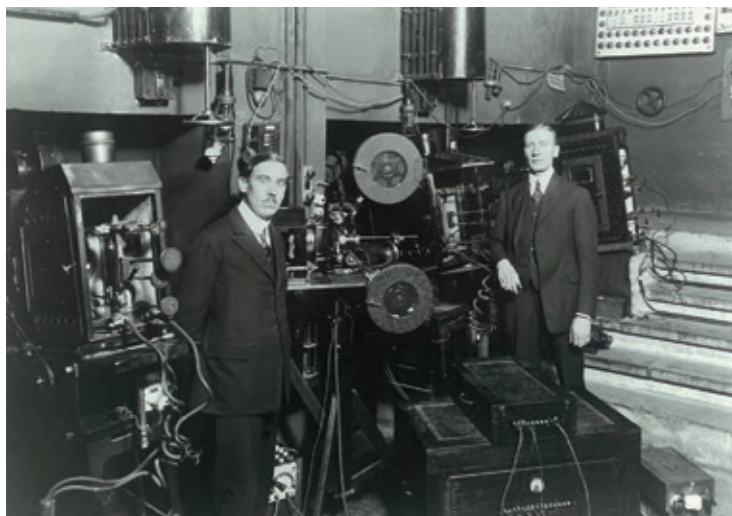
オルトフォンのケーブルを通して再生されるその音は、レコードに刻まれた想いとエネルギーを余すことなく、そして空気や温度までを、感動とともに届けます。

繋ぐだけでなく、“伝える”ことがオルトフォンのケーブルに与えられた使命です。

CONTENTS

P4 - 5	Sound Philosophy
P6 - 7	Reference Premium Series
P8 - 11	Reference Series
P12 - 13	Reference SPK Series
P14 - 15	Tonearm cables
P16 - 17	Silver cables
P18	Optical cable
P18 - 19	Specification

About ortofon



オルトフォンの歴史は、1918年にA.ピーターセンとA.ポールセンが創立したエレクトリカル・フォノフィルム・カンパニーにその源を発します。二人は、この会社から行った史上初の本格的な音の出る映画システム“SYSTEM PETERSEN OG POULSEN”の発表で世界に名を馳せました。エレクトリカル・フォノフィルム・カンパニーは、後にフォノフィルム・インダストリーA/Sと改称され、その傘下に、1947年オルトフォンA/Sが設立されました。「オルトフォン」の名称自体は、既にこの以前からピックアップ製品等に対するブランド名として使用されています。「オルトフォン」は、ギリシャ語の「真正な」「正統な」を意味する“orto”と、同じく「音」を意味する“fon”の2つを組み合わせた造語です。オルトフォンはその名の示すとおり、終始「アナログサウンド」に関わって歩みを進めてきました。そして、自ら標語として掲げる“ACCURACY IN SOUND”の実現を一貫して追求し続けています。



原子核物理学の博士号取得、物理学修士課程。ドイツにおける博士研究員の資格を保持し、オーストリア工科大学准教授を勤める。現在、アナログカートリッジに関する複数の特許を出願中。MC Windfeld以降の全てのカートリッジを設計、オルトフォンの全ラインナップを監修するチーフエンジニアとして現代のオルトフォンが理想とするサウンドを創り出している。

Ortofon A/S Chief Engineer
Dr. Leif Johannsen

ライフ・ヨハンセン

ortofon
accuracy in sound

オルトフォンの理想、4色のReference

オルトフォンが誇る現行インターコネクト(ライン)およびスピーカーケーブルの「Reference」シリーズには、それぞれに4色のカラーとそれを想起させるサウンドイメージを付与させています。これはデンマーク本社のOrtofon A/Sがレコード再生用のカートリッジであるMC Cadenza、MC Q、2Mシリーズに対して行っているもので、Referenceシリーズのケーブルに付されたサウンドカラーもこれに準拠しています。

お手持ちのシステムにはどのカラーが合うか、またどのような音色を出したいかを想像しつつ、ご自身のシステムだけが奏でる理想の音色を育ててゆく。オーディオファン誰もが切望する甘美な果実を味わうために、オルトフォン製品がその一助となれることを願ってやみません。

Black

Referenceケーブルおよび各カートリッジのフラッグシップにあたるモデルは、その全てが「Black」のカラーを冠しています。各シリーズの頂点であるBlackは、高解像度・ワイドレンジであることはもちろん、レコード盤や音楽ソフトに収録された音楽をそのまま再現するHigh Fidelity(高忠実性、Hi-Fi)を至上命題として開発されています。



MC Cadenza Black MC Q30S 2M Black 2M Black LVB 250

Bronze

「Bronze」のカラーはBlackに次ぐランクの製品に付与されていますが、単純にBlackの下位モデルと言い切れないところもあります。粒が細かく、繊細なシルキータッチと柔らかな空気感はBronze独特のもので、この質感を求める向きには唯一無二の存在となるでしょう。



MC Cadenza Bronze MC Q20 2M Bronze

Blue

「Blue」のカラーが付与されたモデルは、多くの製品で純銀線または純銀メッキ銅線を採用するなどしており、煌びやかで硬質な高音域と重厚な低音域が特徴的なシルバーテイストのサウンドをポリシーとしています。クリアかつダイナミックという贅沢な音色は、サウンドに躍動感をもたらします。



MC Cadenza Blue MC Q10 2M Blue

Red

「Red」のカラーは各シリーズのエントリーモデルに対して付与されていますが、これらの製品は各カラーの中で最もオルトフォンらしさを濃厚に出せるような音づくりが行われています。昔ながらのヨーロピアンサウンドにも通ずる、エネルギー感がありながら落ち着いた音色は、「オルトフォン・サウンド」を知る入口として最適です。



MC Cadenza Red MC Q5 2M Red

日欧共同開発による、「Accuracy in Sound」の具現化



「ケーブルで音が変わる」ことがオーディオファンに認知され、世の常識となってからは急速にオーディオケーブルの高純度化・高品質化が進められてきました。これをいち早く認識していたオルトフォンは、MC型カートリッジのコイル巻線に銀線を使用したSPU Goldシリーズを1981年に発表。その後、世界に先駆けて7N高純度銅線を使用したケーブルを世に送り出し、今日に至るまでハイグレードなケーブルの研究開発・生産を続けています。

そして様々な高品質導体をハイブリッドさせたオルトフォンの至宝「Reference」シリーズは、誕生以来20年以上にわたってオーディオファンの皆様に愛され続けています。これまでの歴代シリーズは、オルトフォンジャパンの手によって高品質かつ音楽的な魅力に優れた製品であることを念頭に開発が行われてきましたが、今代のReferenceを冠したシリーズでは北欧デンマークのオルトフォン本社、Ortofon A/Sの技術陣による全面協力を受けた史上初の日欧共同開発が実現しました。

4つのカラーからはじまる、無限の可能性

先に述べた通り、現行のReferenceシリーズはオルトフォンのカートリッジに付されたカラーリングやサウンドイメージに沿って開発されています。オルトフォンのインターコネクトケーブルとスピーカーケーブル、またはカートリッジを使用する場合は同色で揃えるとサウンドイメージの統一を図ることが容易となりますが、無論お好みで部分的に別色の製品を組み合わせることも可能です。メーカー推奨のサウンドを堪能するもよし、または自身のオリジナルレシピとして独自の音色を築き上げていくもよし。4色に分けられたReferenceシリーズは、組み合わせ次第で無限の可能性を秘めています。



制震効果に優れた素材、TPEの採用

Referenceシリーズの被覆(ケーブルの最外周を覆う外装、シース部分)には、デンマークのOrtofon A/Sからの技術供与により高分子材料のTPE(サーモ・プラスチック・エラストマー)を採用。これはオルトフォンがフラッグシップモデルのカートリッジMC DiamondやLH-10000ヘッドシェルの制振材にも用いているもので、これらの製品ではTPEと金属ハウジングという柔・剛をあわせた複合防振を行い、高い制振効果を得ています。Referenceシリーズの開発にあたっては、ここで得られた知見が最大限に活用されました。



MC Diamond

Reference SPK-Black Premium

ナチュラル・高解像度かつエネルギー感や密度も持ち併せた絶妙なバランス

Reference SPKシリーズの決定版となるフラッグシップモデル、「Premium」シリーズ。コレクターズアイテムとしても十分な威容を誇る「Premium」は、オルトフォンが考える至高のサウンドによる純粋伝送を実現し、シンプルかつ高品位な外装はリスニングルームに品格をもたらします。Reference SPK-Black Premiumは、特製の真鍮棒材切削によるロジウムメッキバナナプラグ・Yラグとスリーブ、ケーブルスプリッター（二股分岐部の保護用金属ケース）も装備した受注生産専用モデル。内部構造は、PCUHDとHiFC・OFCの3種類からなる導体の4芯配置。さらにこれをジオメトリック（幾何学的）に配置し、それぞれの芯ごとにハイブリッドされている各導体の働きを均一化させ、それぞれの導体を持つサウンドの個性に調和を持たせています。そして音楽信号を忠実に伝送する際には必要不可欠といえる銅線の導体には物量を惜しむことなくふんだんに用い、これらの分量・配置には厳密な吟味がなされています。極めてナチュラル・高解像度なサウンドでありつつ、一本芯の通ったようなエネルギー感や密度も持ち併せた絶妙なバランスのサウンドをお楽しみ下さい。オーディオケーブルの老舗であるオルトフォンが長年にわたって培ってきたケーブル技術を余すところなく取り入れ、かつシンプルにまとめた自信作です。

Reference SPK-Black Premium 【完全受注生産品】

導体種類	PCUHD、HiFC、OFC	導体抵抗	8mΩ/m	端子部導体種類	ロジウムメッキ真鍮材
導体面積	2.5mm ² ×4	耐電圧	AC500V / 1分間	絶縁材	高弾性エラストマー、ポリエチレン、ポリエステル
ケーブル径	Φ14.5mm	シールド	アルミテープ	長さ	2.0m、2.5m、3.0m（それぞれベア、最長3mまで）



Reference SPK-Bronze Premium

シルキーで聴き心地のよい Bronze独特のサウンド

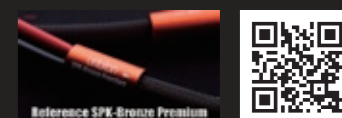
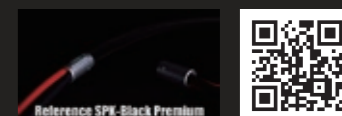
高解像度・ワイドレンジでありながら滑らかで柔らかいサウンドのReference SPK-Bronze Premium。オルトフォンのMC・MMカートリッジの同色モデルと同じサウンドイメージを持って設計されており、上位モデルのBlackとはまた異なるBronze独特のサウンドに魅了されるオーディオファイルも少なくありません。本モデルも端末処理を施し、特製の真鍮棒材切削による金メッキバナナプラグ・Yラグとスリーブ、ケーブルスプリッター（二股分岐部の保護用金属ケース）を装備した受注生産専用モデルとなっております。このBronzeの導体にはPCUHD・HiFC・OFCの3種類を使用、さらに4芯配置となっている導体を構成する細い線材の太さを2種類に分け、0.32mm径×16本仕様を2本・0.18mm径×50本仕様を2本としています。本機種ならではのシルキーで聴き心地のよいサウンドをご堪能ください。

Reference SPK-Bronze Premium 【完全受注生産品】

導体種類	PCUHD、HiFC、OFC	導体抵抗	15mΩ/m	端子部導体種類	金メッキ真鍮材
導体面積	1.28mm ² ×2、1.27mm ² ×2	耐電圧	AC500V / 1分間	絶縁材	高弾性エラストマー、ポリエチレン、ポリエステル
ケーブル径	Φ13.0mm	シールド	銅編線、0.12mm×9本を16組	長さ	2.0m、2.5m、3.0m（それぞれベア、最長3mまで）



Special Movie



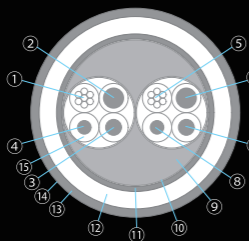


Reference Black

音のエネルギーをロスなくありのままに伝える 新世代のフラッグシップケーブル

PCUHD・6N高純度銅線・銀メッキ銅線・HiFCの4種の導体を使用し、シールド編線にはOFCを採用。多数の導体をミクスチャー・ツイストもしくは併用するにあたっては、芯線の導体径や本数についても検証が行われ、各導体を持つ素材の持ち味を最大限に生かすつづつバランスの良いサウンドを創り出すべく全力が注がれました。ケーブルの配置はコラテラル・ディスポーズ (Collateral Dispose) を採用し、信号線を構成する導体を非対称配置として並立させています。接点にロジウムメッキが施されたRCA端子には、コレットチャック式を採用し、接続を安定させて脱落を防止。XLR端子には、信頼性と耐久性に優れ、脱着もスムーズな高精度の金メッキ端子を採用。再生機器でピックアップされた音楽信号を忠実に再現し、サウンドが本来持っているエネルギー感をロスなく伝送するという理想を具現化した、フラッグシップラインケーブルです。

- ① Signal conductors : PCUHD φ0.32mm × 7
- ② Signal conductors : 6N copper φ0.18mm × 4
Silver plated 3N copper φ0.18mm × 16
- ③ Signal conductors : Silver plated 3N copper φ0.12mm × 30
- ④ Signal conductors : HiFC φ0.08mm × 49
- ⑤ Signal conductors : PCUHD φ0.32mm × 7
- ⑥ Signal conductors : 6N copper φ0.18mm × 4
Silver plated 3N copper φ0.18mm × 16
- ⑦ Signal conductors : Silver plated 3N copper φ0.12mm × 30
- ⑧ Signal conductors : HiFC φ0.08mm × 49
- ⑨ Damping material : Cotton fiber
- ⑩ Shielded : Aluminum tape
- ⑪ Shielded : Braided wire 4N OFC φ0.12mm × 8 × 24
- ⑫ Insulation : Halogen-free highly resilient elastomer
- ⑬ Insulation : Braided nylon fiber
- ⑭ Cable diameter : φ10mm
- ⑮ Insulation : PE



Reference Black RCA/XLR

導体種類	6N高純度銅線、PCUHD、HiFC、銀メッキ銅線	端子メッキ	RCA：ロジウムメッキ / XLR：金メッキ	シールド	アルミテープ/OFC編線、0.12mm×8本を24組
導体面積	1.44mm ² (片側)	導体抵抗	12mΩ/m	絶縁材	高弾性エラストマー、ポリエチレン
ケーブル径	φ10mm	静電容量	250pF/m	長さ	1.0m×2
端子径	RCA：φ14.5mm / XLR：φ20mm	耐電圧	AC500V/1分間		

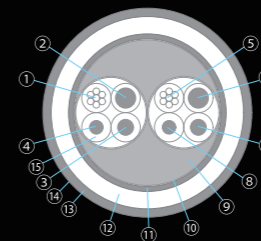


Reference Bronze

素材を巧みにブレンドして創り上げた 「Reference」サウンド

導体にPCUHD、HiFC、OFCの3種を採用し、それぞれに特徴のある銅素材を巧みにブレンドすることで、きめ細かくワイドレンジ、そしてフラット調でクセの無い「Reference」サウンドをつくり上げました。信号線の導体面積についても吟味し、サウンドの重心が腰高になったり、また低くなり過ぎたりしないように調整されています。ケーブル導体の配置は上位機種と同じくコラテラル・ディスポーズ (Collateral Dispose) を採用し、信号線内部を非対称配置として並立させています。オルトフォンオリジナルのRCA端子は接点にロジウムメッキ、ハウジングにはニッケルメッキを、XLR端子の接点には金メッキを施し、端末の保護を徹底しています。

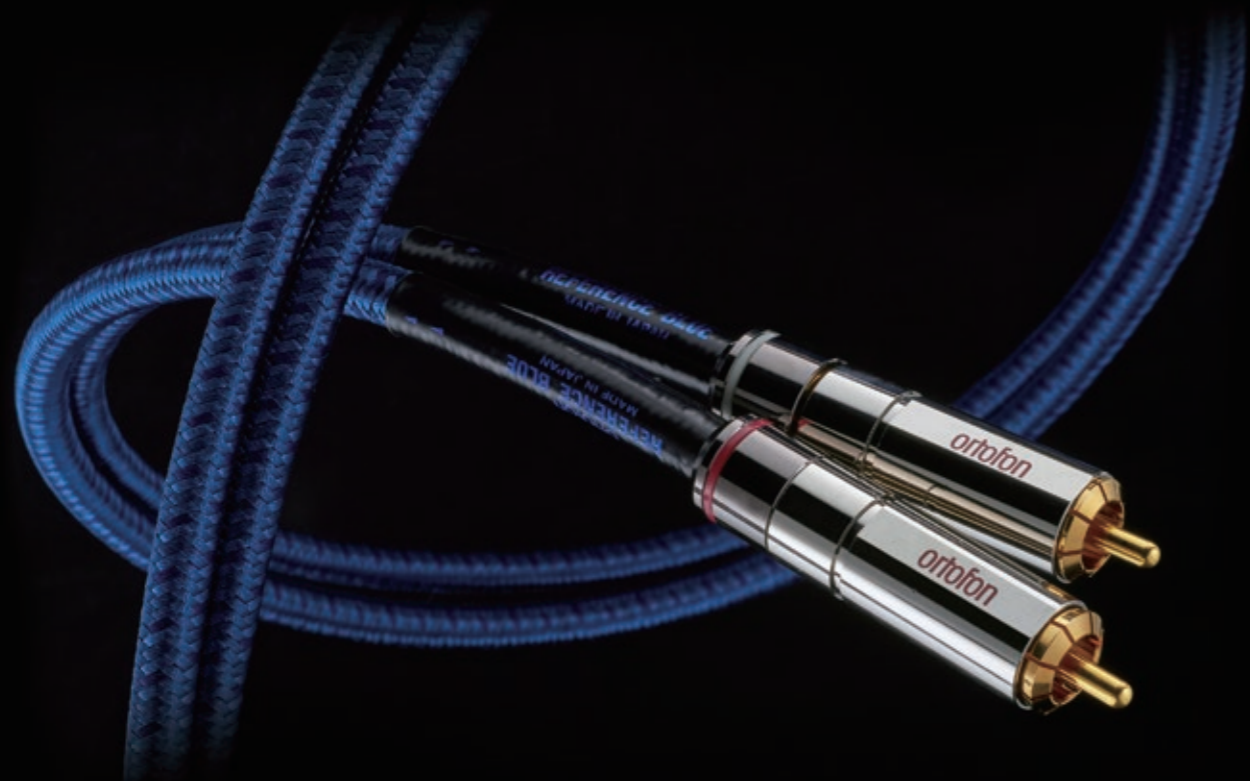
- ① Signal conductors : PCUHD φ0.32mm × 7
- ② Signal conductors : OFC φ0.18mm × 20
- ③ Signal conductors : HiFC φ0.12mm × 30
- ④ Signal conductors : HiFC φ0.08mm × 49
- ⑤ Signal conductors : PCUHD φ0.32mm × 7
- ⑥ Signal conductors : OFC φ0.18mm × 20
- ⑦ Signal conductors : OFC φ0.12mm × 30
- ⑧ Signal conductors : HiFC φ0.08mm × 49
- ⑨ Damping material : Cotton fiber
- ⑩ Shielded : Aluminum tape
- ⑪ Shielded : Braided 4N OFC φ0.12mm × 8 × 24
- ⑫ Insulation : Halogen-free highly resilient elastomer
- ⑬ Insulation : Braided nylon fiber
- ⑭ Cable diameter : φ10mm
- ⑮ Insulation : PE



Reference Bronze RCA/XLR

導体種類	PCUHD、HiFC、OFC	端子メッキ	RCA：ロジウムメッキ / XLR：金メッキ	シールド	アルミテープ/OFC編線、0.12mm×8本を24組
導体面積	1.63mm ² (片側)	導体抵抗	12mΩ/m	絶縁材	高弾性エラストマー、ポリエチレン
ケーブル径	φ10mm	静電容量	266pF/m	長さ	1.0m×2
端子径	RCA：φ14.5mm / XLR：φ20mm	耐電圧	AC500V/1分間		



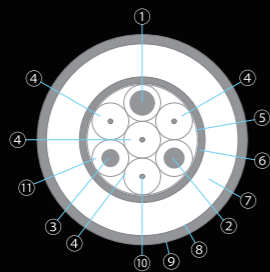


Reference Blue

クリアでワイドレンジ、 定位感に優れたオーディオケーブル

Reference Blueは「ダイナミックかつ高解像度であり、音の広がり優れたケーブルを」というコンセプトの下に開発されました。導体はOFCとHiFCからなり、クリアでワイドレンジ、定位感に優れたHiFCの特色を最大限に活かした編成となっています。そして新たにイコラテラル・ディスポーズ (Equilateral Dispose)を採用、信号線を正三角形形状に配置し、中心および側面にはダンパーを装着してケーブル内での信号線の間隔を常に一定に保つ構造としました。また、金メッキを施したオルトフォンオリジナルのRCA端子はコレットチャック式機構を採用し、スムーズな挿抜と固定、信号伝送を実現しています。

- ① Signal conductors : OFC ϕ 0.18mm \times 20
- ② Signal conductors : OFC ϕ 0.12mm \times 30
- ③ Signal conductors : HiFC ϕ 0.08mm \times 49
- ④ Damping material : PE ϕ 1.4mm \times 4
- ⑤ Shielded : Aluminum tape
- ⑥ Shielded : Braided 4N OFC ϕ 0.12mm \times 8 \times 16
- ⑦ Insulation : Halogen-free highly resilient elastomer
- ⑧ Insulation : Braided nylon fiber
- ⑨ Cable diameter : ϕ 8mm
- ⑩ Damping material : Enhanced chemical fiber (proprietary material)
- ⑪ Insulation : PE



Reference Blue RCA

導体種類	HiFC, OFC	端子メッキ	RCA : 金メッキ	シールド	アルミテープ/OFC編線、0.12mm \times 8本を16組
導体面積	1.07mm \times 1 (片側)	導体抵抗	18m Ω /m	絶縁材	高弾性エラストマー、ポリエチレン
ケーブル径	ϕ 8mm	ケーブル径	ϕ 8mm	静電容量	340pF/m
端子径	RCA : ϕ 14mm	耐電圧	AC500V/1分間	長さ	1.0mまたは1.5m \times 2

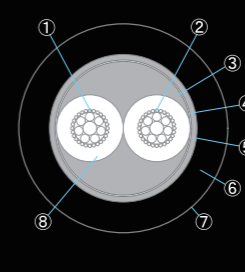


Reference Red

ダイナミックかつ暖かみのある、 高解像度のスタンダードモデル

「Reference」シリーズのスタンダードモデルとなるReference Redは、導体にOFCとHiFCを採用。2種の導体をミクスチャー・ツイスト (Mixture Twist)させたハイブリッドケーブルはダイナミックかつ程良く暖かみのあるサウンドでありつつ、HiFC由来の高い解像度も持ち併せています。シールド編線は0.1mm径 \times 10本を一組とした銅線の16組交差とアルミテープを併用してノイズ対策を万全なものとし、また接点に金メッキを施した高剛性ハウジング仕様のRCA端子により、機器側へのスムーズな接続はもちろん、頻繁な挿抜を行っても緩むことなく強固な接続を維持することを可能としています。

- ① Signal conductors : OFC ϕ 0.5mm+ ϕ 0.32mm \times 7
HiFC ϕ 0.12mm \times 28
- ② Signal conductors : OFC ϕ 0.5mm+ ϕ 0.32mm \times 7
HiFC ϕ 0.12mm \times 28
- ③ Damping material : Cotton fiber
- ④ Shielded : Aluminum tape
- ⑤ Shielded : Braided Tin-plated 3N copper wire
 ϕ 0.1mm \times 10 \times 16
- ⑥ Insulation : Halogen-free highly resilient elastomer
- ⑦ Cable diameter : ϕ 7.5mm
- ⑧ Insulation : PE



Reference Red RCA

導体種類	HiFC, OFC	端子メッキ	RCA : 金メッキ	シールド	アルミテープ/銅編線、0.1mm \times 10本を16組
導体面積	1.07mm \times 2 (片側)	導体抵抗	23m Ω /m	絶縁材	高弾性エラストマー、ポリエチレン
ケーブル径	ϕ 7.5mm	ケーブル径	ϕ 7.5mm	静電容量	705pF/m
端子径	RCA : ϕ 13mm	耐電圧	AC500V/1分間	長さ	1.0mまたは1.5m \times 2



Reference SPK-Black

「Reference」という言葉を体現する 極めてナチュラルなスピーカーケーブル

Reference SPK-Blackは、PCUHDとHiFC・OFCの3種類からなる導体を4芯配置とし、さらにこれをジオメトリック(幾何学的)に配置することで、それぞれの芯ごとにハイブリッドされている各導体の動きを均一化させ、それぞれの導体を持つサウンドの個性に調和を持たせています。そして音楽信号を忠実に伝送する際には必要不可欠といえる銅線の導体には物量を惜しむことなくふんだんに用い、これらの分量・配置には厳密な吟味がなされました。極めてナチュラル・高解像度なサウンドでありつつ、一本芯の通ったようなエネルギー感や密度までも持ち併せた、まさに新たな「Reference」シリーズの頂点に相応しいケーブルとなっています。



Reference SPK-Blue

クリアでありダイナミックという 絶妙で個性的な音色を実現

Reference SPK-Blueは導体にHiFCと銀メッキ銅線を採用。シャープで定位感に優れた音のHiFCと、サウンドに厚みと銀独特の煌びやかさのある銀メッキ銅線という正反対の特徴をもった導体同士を敢えてブレンドすることで、クリアでありダイナミックという絶妙で個性的な音色を創り出すことに成功しました。システムの音にもうひと味、という時にお薦めします。



Reference SPK-Bronze

高解像度・ワイドレンジでありつつ 柔らかく聴き心地の良い滑らかなサウンド

Reference SPK-Bronzeの目指したものは、高解像度・ワイドレンジでありつつ柔らかく、聴き心地の良い滑らかなサウンド。導体にはPCUHD・HiFC・OFCの3種類を使用し、さらに4芯配置となっている導体を構成する細い線材の太さを2種類に分け、0.32mm径×16本仕様を2本・0.18mm径×50本仕様を2本としています。異なる線径の導体を組み合わせることで数パターンの音色調整を行うことを可能とし、よりアクティブなケーブルセッティングをお楽しみ頂けます。



Reference SPK-Red

シンプルな構成の中にオルトフォンの 叡智が詰まった逸品

新世代の「Reference」ケーブルを開発するというコンセプトの下、今日のケーブル導体のスタンダードとなったHiFCと高品質オーディオケーブル導体の元祖といえるOFCを独自の比率で配合し、ハイブリッド導体としたReference SPK-Red。低域から高域に至るまでのバランスに優れ、かつエネルギーで暖かみのある音色のこのケーブルは、シンプルな構成の中にオルトフォンの叡智が詰まった逸品です。



Reference SPK-Black

導体種類	PCUHD、HiFC、OFC	ケーブル径	φ14.0mm	耐電圧	AC500V/1分間	絶縁材	高弾性エラストマー、ポリエチレン
導体面積	2.5mm ² ×4	導体抵抗	8mΩ/m	シールド	アルミテープ	長さ	40m(1巻)



Reference SPK-Bronze

導体種類	PCUHD、HiFC、OFC	ケーブル径	φ9.0mm	耐電圧	AC500V/1分間	絶縁材	高弾性エラストマー、ポリエチレン
導体面積	1.28mm ² ×2、1.27mm ² ×2	導体抵抗	15mΩ/m	シールド	銅編線、0.12mm×9本を16組	長さ	40m(1巻)



【動画】スピーカーケーブルのむき方・端末処理の方法について



Reference SPK-Blue


導体種類	HiFC、銀メッキ銅線	ケーブル径	φ8.0mm	耐電圧	AC500V/1分間	絶縁材	高弾性エラストマー、ポリエチレン
導体面積	1.27mm ² ×2	導体抵抗	15mΩ/m	シールド	銀メッキ銅編線、0.12mm×8本を16組	長さ	50m(1巻)




Reference SPK-Red

導体種類	HiFC、OFC	ケーブル径	φ8.0mm	耐電圧	AC500V/1分間	絶縁材	高弾性エラストマー、ポリエチレン
導体面積	1.26mm ² ×2	導体抵抗	16mΩ/m	シールド	アルミテープ	長さ	50m(1巻)



アナログオーディオ大全
6NX-TSWシリーズの更なる
詳細情報をご紹介します。



完璧なシールドと純粋な伝送。これがフォノケーブルの理想

フォノケーブルは、主にレコード再生時の音声信号伝送を目的としたケーブルです。一般的な構造は同軸タイプの音声信号ケーブル、信号回路のシールドを目的としたアース線(写真)が付属しているのが主な特徴です。



6NX-TSW1010

オルトフォンの考えるフォノケーブルの理想は、「完璧なシールド」・「信号の純粋伝送」・「使用環境に対して幅広く対応すること」です。6NX-TSW1010シリーズはL/Rチャンネル線の外周に更にもう一重、信号線から完全に独立したシールドラインを設けたダブルシールド方式を採用することで、高品位なアナログ再生の天敵である誘導ノイズを強力にシャットアウトすることに成功。また、6N高純度銅線とOFCを独自のブレンドでハイブリッドした高品位な導体は、カートリッジがピックアップした微細な信号を減衰させることなく伝送します。そして端子接点は肉厚のロジウムメッキを施すことで、アナログ再生にありがちな接触不良が発生する可能性を大きく低減させました。フォノ5ピン/RCA端子を使用したスタンダードタイプの本機に加え、様々な状況に対応したバリエーションモデルもご用意しております。

6NX-TSW1010は、トーンアーム→アンプのPHONO入力もしくはMC昇圧トランスの入力(1次)側などの信号伝送を行う場合、最もスタンダードな仕様として挙げられるタイプのフォノケーブルです。一般的な単売トーンアームの多くはフォノ5pin端子を装備しているため、アーム付属品のフォノケーブルをアップグレードする場合や経年に伴う交換を行う際にも最適です。



6NX-TSW1010R

6NX-TSW1010Rは、本体にRCA端子を備えたトーンアーム(例:SME3009/3010/3012R、M2シリーズなど)、レコードプレーヤー本体にRCA出力を備えた製品(例:現行のTechnics SLシリーズなど)、またはMC昇圧トランスのRCA出力→アンプのPHONO入力などの用途や、そして一般的なインターコネクトケーブルとしても使用可能なモデルです。



6NX-TSW1010L

6NX-TSW1010Lは、L字型のフォノ5pin端子を装備したモデルです。これはキャビネットなどが薄型のレコードプレーヤーを想定したもので、ノーマルモデルの6NX-TSW1010では端子の長さの都合上フォノケーブルの取付ができない場合などに使用して下さい。



6NX-TSW1010B

6NX-TSW1010Bは、フォノ5pin→ケーブル部分をバランス伝送に対応させてXLR端子を装備したモデルです。2番Hot・3番Cold・1番GNDとなっており、XLR端子の1番にケーブルのシールドを経由したGNDが落ちているため、アース線はなく接続の必要もありません。

また、このタイプはMC型カートリッジ使用時、MC昇圧トランスST-90やフォノイコライザーアンプEQA-2000のようなXLR端子のバランス入力が装備されている機器を接続する際に使用するものです。クリアでS/N感に優れたサウンドは、バランス伝送時に特有のもので。



6NX-TSW1010 / 6NX-TSW1010R / 6NX-TSW1010L / 6NX-TSW1010B

導体種類	6N高純度銅線、OFC	導体抵抗	48mΩ/m以下	絶縁材	ポリエチレン、PVC
導体面積	0.37mm ² ×2	耐電圧	AC500/1分間	長さ	1.2m
ケーブル径	Φ10mm	シールド	16/8/0.1		
端子メッキ	金メッキ / ロジウムメッキ	絶縁抵抗	2000mΩ/m以上		



高品質導体の先駆者としての歴史は、 銀線からスタートした

オルトフォンと銀線との縁は深く、1981年に発表されたSPU Goldシリーズのコイル巻線としてこれを使用したことに端を発します。カートリッジのコイル巻線に銀線を採用するメリットは、なんと言っても導体内部での伝達速度が銅や金を超えて最も速いこと、銀特有の煌びやかなサウンドを得られることが挙げられます。そのため、銀線コイルはその後も数多くのカートリッジに採用され続けました。しかし当時の銀線は「純銀」であっても今日のように高純度と呼べるものではなく、「銀の音」と形容される特有の付帯音を抱えていました。オルトフォンはこれ乗り越えるため、技術提携先であったマテリアルメーカーの協力を得て極限まで銀の純度を上げた6N高純度銀線の実用化に成功、悩まされていた銀特有の付帯音から解放されました。

6N高純度銀線の誕生により、早速これをコイル巻線に使用した様々なMC型カートリッジが開発されました。SPUの開発者ロバート・グッドマンセン氏のシグネチャー・モデルであるSPU Meister Silverシリーズや、オルトフォンのCEOであったエリック・ローマン氏の名を冠したMC Rohmann、創立80周年を祝して誕生したMC Jubileeなどの記念モデルはこれを契機として誕生し、現在でもMC Cadenza Red、Blue、Monoなどのサウンドを構成する重要なマテリアルとして使用され続けています。またMC Q10とQ Monoにおいてはコストを度外視して4N相当の純銀線を採用し、シルバーサウンドの魅力の普及に努めています。更にカートリッジ製造で培ったノウハウを活かし、振動板のボイスコイルに純銀線を採用したバランスド・アーマチュア型イヤフォン、e-Q8シリーズの開発にも成功しています。

そして輝ける銀の音色はインターコネクト、スピーカー、フォノケーブルなどに用いた際にも色褪せることなく、これに魅せられたオルトフォンは様々な純銀線ケーブルを世に送り出してきました。更に、銀の利点は銅線の表面をメッキしてシルバークラウド線とした際、純銀とはまた一味違う音色をつくり出せるところにもあります。銀メッキ銅線は銀の輝きと銅のナチュラル感を並立させたバランスの整ったサウンドを特徴としており、この理想の導体はオルトフォン創立100周年を記念して発表されたThe SPU CenturyやThe Concorde Century、また「楽聖」ベートーヴェン生誕250周年記念モデルの2M Black LVB250をはじめとする2Mシリーズの上位モデルのコイル巻線に採用されています。

これらのカートリッジで得られた知見はケーブルにも反映されており、パワーケーブルのPSC-4000 XG Silverや、インターコネクトケーブルのReference BlackおよびAC-3800 Silver、スピーカーケーブルのReference SPK-Blueなど多数の機種での採用に至っています。歴史と伝統に支えられて美しく輝くシルバーサウンドは、オルトフォンの誇りです。



SPU Meister Silver MKII



MC Rohmann



MC Jubilee

銀線のあゆみ

銀線の歴史は1981年から始まりました

- 1981 SPU Gold GE/AE
- 1986 MC 30 Super
- 1988 MC 70 Anniversary
- 1995 MC Rohmann
- 1996 SPU Meister Silver GE/AE
- 1998 MC Jubilee
- 2000 MC Kontrapunkt Series
- 2002 SILVER Reference
- 2007 2M Series (Black, Bronze)

オルトフォン創業90周年を迎える

- 2008 MC Cadenza Series (Red, Blue, Mono)
- 2013 MC Q10, AC-3800 Silver
- 2014 e-Q8, e-Q8 Limited Edition
- 2016 Reference SPK-Blue

オルトフォン創業100周年を迎える

- 2018 The Concorde Century, The SPU Century
- 2021 2M Black LVB 250
- 2022 PSC-4000 XG Silver

※黒：カートリッジ、青：ケーブル、緑：イヤフォン



2M Black



2M Bronze



MC Cadenza Red



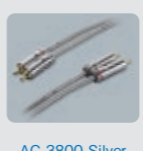
MC Cadenza Blue



MC Cadenza Mono



MC Q10



AC-3800 Silver



e-Q8



e-Q8 Limited Edition



Reference SPK-Blue



2M Black LVB 250



PSC-4000 XG Silver



PSC-4000 XG Silver

伝統と実績が現す、オルトフォンのシルバーサウンド

銀と銅、2つの素材がもたらすオルトフォンの理想

オルトフォンはレコード再生に用いるカートリッジのコイル導体に銀線を使用して以降、この導体が生み出すサウンドの素晴らしさに魅せられました。1980年代からスタートしたこの試みは、その後一般的な純銀線よりも更にハイグレードな6N高純度銀が登場したことで更に発展し、様々なカートリッジの音色を彩りながら今なお多数の製品に使用され、銀線特有の煌きこそ至上とする熱烈なファンに愛され続けています。そして純銀線特有の煌びやかで歯切れのよいスピーディーな音色は世に知られた通りですが、銀で銅線の表面をメッキしたシルバークラウド線を使用したり、銅を主体とする他の金属導体とのハイブリッド組成を行ったりすることで、純銀線とはまた一味異なるサウンドをつくり出すこともできます。煌びやかな銀線と、ナチュラルテイストな銅線のマリアージュがもたらす音色はオルトフォンの求める理想に欠かせません。

理想のサウンドバランス、その答えは3.0mm

オーディオシステムのサウンドはカートリッジやプレーヤー、アンプ、スピーカーなどでその大枠が決まりますが、各機器間を伝送するケーブルを吟味し選択することで、システムに隠し味を加えてより綿密で奥の深い音づくりを行うことができます。オルトフォンは長年にわたりオーディオケーブルの研究開発を続け、様々な太さのケーブルを作製して試聴を繰り返してきましたが、その中で特にパワーケーブルの導体の太さ(線径あるいは断面積)を変えるとサウンドの力感や重心位置、またいわゆる「音の太さ」が大きく変化することを実感しました。これを踏まえて音のエネルギーが特定の帯域に偏らない、高域から低域までの全帯域でのサウンドバランスに優れたパワーケーブルの開発が進められ、導体1本の断面積が3.0mm²であるPSC-4000 XG Silverの誕生へと至ります。またパワーケーブルが太いことは、それだけ柔軟な曲げが困難となり、機器の設置環境によってはセッティングに支障が出るという恐れもあります。様々な環境に柔軟に対応するという基本コンセプトにより、本製品の外径は11mmとなっています。

PSC-4000 XG Silver

導体種類	銀メッキ銅線、OFC	端子メッキ	3pinロジウムメッキ	絶縁抵抗	5mΩ/km以上
導体面積	3.0mm ² ×3	導体抵抗	6.6Ω/km以下	絶縁材	PVC
ケーブル径	Φ11mm	耐電圧	AC2000V/1分間	長さ	1.5m



AC-3800 Silver

低域から高域まで歯切れの良い 銀線特有の玲瓏な音質

オルトフォンのインターコネクトケーブルの中でも、長年のベストセラーであったAC-3600 Silverの後継機として生まれたAC-3800 Silverは、音響信号伝送にコストを重視した最良の導体の組み合わせ、OFC銅線に銀メッキを組み合わせた音質本位のケーブルです。あくまでも純音再生の基本にこだわり、低域から高域まで歯切れの良い銀線特有の玲瓏な音質です。端子はRCA専用です。

AC-3800 Silver

導体種類	銀メッキ線、OFC	端子径	RCA：Φ12mm	静電容量	86pF/m	絶縁材	ポリエチレン、PVC
導体面積	0.588mm ² ×2	端子メッキ	RCA：金メッキ	耐電圧	AC500V/1分間	長さ	1.5m×2
ケーブル径	Φ5.4mm	導体抵抗	13.5Ω/km以下	シールド	16/8/0.1		





OPT-100

TOS LINK対応光ケーブル

透明度の高いプラスチックファイバー光ケーブルは無色透明な信号伝送を可能とし、音の世界に新たな純粋伝送の時代を開きました。外部ノイズ、不要輻射からの電磁波ノイズに対し高い性能を発揮し、デジタル伝送に最適です。接続はAVシステムのTOS(光・角形)LINKインターフェイスに合致します。また従来の1.0m/1.5mに新しく2.0m/3.0mの長尺ラインナップが加わったことでより柔軟に、様々な使用環境にも対応可能となりました。S/PDIFをはじめとするデジタル信号を高い精度のまま伝送する際に最適なTOSLINK接続は、現在でもCDプレーヤーやDAC、PC(TOSLINKポートを搭載したデバイスに対応)などのデジタルオーディオにおける主要規格の一つです。TVやゲーム機・PC・デジタルオーディオ機器とアンプが離れている場合でも、ストレスなく接続することができます。



OPT-100					
導体種類	プラスチックファイバー	ケーブル径	Φ5mm	絶縁材	PVC
導体面積	3.8mm ²	端子	TOS(光・角形)	長さ	1.0m、1.5m、2.0m、3.0m



スピーカーケーブルの剥き方・端末処理の方法について

Reference SPK-Bronzeを例として、スピーカーケーブルの剥き方を公式Youtube動画でわかりやすくご紹介しています。



※ケーブルの剥き方や端末処理には多くの方法があります。この動画はあくまで一例です

オルトフォンジャパン公式YouTubeチャンネル



Specification

	Reference Black (RCA・XLR)	Reference Bronze (RCA・XLR)	Reference Blue (RCA/1.0m・1.5m)	Reference Red (RCA/1.0m・1.5m)	AC-3800 Silver
導体種類	6N高純度銅線、PCUHD、HiFC、銀メッキ銅線	PCUHD、HiFC、OFC	HiFC、OFC	HiFC、OFC	銀メッキ線、OFC
導体面積	1.44mm ² ×2(片側)	1.63mm ² ×2(片側)	1.07mm ² ×1(片側)	1.07mm ² ×2(片側)	0.588mm ² ×2
ケーブル径	Φ10mm	Φ10mm	Φ8mm	Φ7.5mm	Φ5.4mm
端子径	RCA : Φ14.5mm / XLR : Φ20mm	RCA : Φ14.5mm / XLR : Φ20mm	RCA : Φ14mm	RCA : Φ13mm	RCA : Φ12mm
端子メッキ	RCA : ロジウムメッキ / XLR : 金メッキ	RCA : ロジウムメッキ / XLR : 金メッキ	RCA : 金メッキ	RCA : 金メッキ	RCA : 金メッキ
導体抵抗	12mΩ/m	12mΩ/m	18mΩ/m	23mΩ/m	13.5Ω/km以下
静電容量	250pF/m	266pF/m	340pF/m	705pF/m	86pF/m
耐電圧	AC500V/1分間	AC500V/1分間	AC500V/1分間	AC500V/1分間	AC500V/1分間
シールド	アルミテープ/OFC編線、0.12mm×8本を24組	アルミテープ/OFC編線、0.12mm×8本を24組	アルミテープ/OFC編線、0.12mm×8本を16組	アルミテープ/銅編線、0.1mm×10本を16組	16/8/0.1
絶縁材	高弾性エラストマー、ポリエチレン	高弾性エラストマー、ポリエチレン	高弾性エラストマー、ポリエチレン	高弾性エラストマー、ポリエチレン	ポリエチレン、PVC
長さ	1.0m×2	1.0m×2	1.0mまたは1.5m×2	1.0mまたは1.5m×2	1.5m×2

	Reference SPK-Black Premium	Reference SPK-Bronze Premium	Reference SPK-Black	Reference SPK-Bronze	Reference SPK-Blue	Reference SPK-Red
導体種類	PCUHD、HiFC、OFC	PCUHD、HiFC、OFC	PCUHD、HiFC、OFC	PCUHD、HiFC、OFC	HiFC、銀メッキ銅線	HiFC、OFC
導体面積	2.5mm ² ×4	1.28mm ² ×2、1.27mm ² ×2	2.5mm ² ×4	1.28mm ² ×2、1.27mm ² ×2	1.27mm ² ×2	1.26mm ² ×2
ケーブル径	Φ14.5mm	Φ13.0mm	Φ14.0mm	Φ9.0mm	Φ8.0mm	Φ8.0mm
導体抵抗	8mΩ/m	15mΩ/m	8mΩ/m	15mΩ/m	15mΩ/m	16mΩ/m
耐電圧	AC500V/1分間	AC500V/1分間	AC500V/1分間	AC500V/1分間	AC500V/1分間	AC500V/1分間
シールド	アルミテープ	銅編線、0.12mm×9本を16組	アルミテープ	銅編線、0.12mm×9本を16組	銀メッキ銅編線、0.12mm×8本を16組	アルミテープ
絶縁材	高弾性エラストマー、ポリエチレン、ポリエステル	高弾性エラストマー、ポリエチレン、ポリエステル	高弾性エラストマー、ポリエチレン	高弾性エラストマー、ポリエチレン	高弾性エラストマー、ポリエチレン	高弾性エラストマー、ポリエチレン
長さ	2.0m、2.5m、3.0m(それぞれペア、最長3mまで)	2.0m、2.5m、3.0m(それぞれペア、最長3mまで)	40m(1巻)	40m(1巻)	50m(1巻)	50m(1巻)

	PSC-4000 XG Silver	6NX-TSW1010 (R・L・B含む)	OPT-100
導体種類	銀メッキ銅線、OFC	6N高純度銅線、OFC	プラスチックファイバー
導体面積	3.0mm ² ×3	0.37mm ² ×2	3.8mm ²
ケーブル径	Φ11mm	Φ10mm	Φ5mm
端子メッキ	3pinロジウムメッキ	金メッキ / ロジウムメッキ	TOS(光・角形)
導体抵抗	6.6Ω/km以下	48mΩ/m以下	-
耐電圧	AC 2000V/1分間	AC500V/1分間	-
シールド	-	16/8/0.1	-
絶縁抵抗	5mΩ/km以上	2000mΩ/m以上	-
絶縁材	PVC	ポリエチレン、PVC	PVC
長さ	1.5m	1.2m	1.0m、1.5m、2.0m、3.0m